



郷土博物館
(彩湖自然学習センター)
を取り巻く現状と課題

郷土博物館
(彩湖自然学習センター)
の目指す姿

郷土博物館
(彩湖自然学習センター)
の目指す姿について

郷土博物館は「市民の教育、学術及び文化の発展に寄与する」ため、昭和59年に開館し、令和6年には開館40周年を迎えます。彩湖自然学習センターは、平成9年に郷土博物館の分館として彩湖のほとりに開館し、令和4年には開館25周年を迎えます。両館とも開館以来年数を重ねる中で、施設の利用環境改善や新たな来館者層の開拓が求められているほか、ポストコロナの時代における「博物館施設」として、進展著しいデジタル技術等を活用した新たな観覧方法・機会の充実や、積極的な情報発信への対応も求められています。

「知の拠点」として、あらゆる人に戸田の魅力を発信し続ける博物館

「博物館施設」の持つ4つの機能(①調査・研究、②収集・整理・保存、③展示・公開・発信、④教育普及)において、従来型の取組を進めることはもちろん、デジタル技術等を駆使した新たな観覧方法や学習機会の充実、積極的な情報発信に努めることで、広く戸田の魅力を発信し続ける「知の拠点」としての役割を果たしていきます。

機能1. 調査・研究

戸田の歴史や自然について蓄積していく「知の拠点」となる施設として、郷土戸田に関する調査・研究をさらに進めていきます。

主な取組

- ・専門性が求められる学芸員及びアーキストの確保など、職員体制の充実を図る
- ・継続的、計画的に調査・研究に取り組むとともに、外部機関の研修などに積極的に参加することにより、学芸員等のスキル向上を図り専門性を高める
- ・他博物館や関係機関などと連携を図り、外部の研究成果を積極的に活用する
- ・庁内他課事業との連携(戸田ヶ原自然再生事業など)を積極的に進める



機能2. 収集・整理・保存

郷土戸田の歴史・文化や自然について次世代へとつなげるため、資料の収集・整理・保存に努めていきます。

主な取組

- ・限りある収蔵スペースを最大限活用するため、資料の整理及び収蔵環境の維持・改善に取り組む
- ・収蔵資料のさらなる充実を図るため、寄贈などによる地域の資料の適切な受入れに一層努める
- ・市の歴史を跡付ける史料となる「歴史的公文書」をはじめ、地域に残された史料の収集・整理・保存に継続して取り組む
- ・収蔵品管理システムにより、収蔵資料の適切な管理を行うとともに、収蔵資料情報の公開の充実(公開対象資料の拡大)を図る

機能3. 展示・公開・発信

歴史・民俗分野と自然分野にわたる「総合博物館」として、魅力ある展示・公開の事業を行うとともに、戸田市民の財産として広く発信していきます。

主な取組

- ・戸田に関わりのあるテーマを広く求め、日頃接する機会がない貴重な資料なども紹介する特別展、企画展を開催する
- ・博物館の調査・研究活動に基づいた成果を市民などに還元する特別展、企画展を開催する
- ・ロビー展などの小規模展示を活用し、調査・研究活動成果の定期的な公開・発信を図る
- ・『研究紀要』などの刊行物により、調査・研究の成果を広く公開・発信する
- ・常設展示など各種展示の見どころを分かりやすく伝える動画コンテンツの充実を図る
- ・収蔵資料や市内文化財などの情報のデジタル化を進め、デジタルミュージアムとして広く発信する
- ・常設展示における音声ガイド(視覚障害者対応、多言語対応含む)の検討など、展示情報の一層のバリアフリー化に取り組む
- ・学芸員による展示解説(常設展、企画展、特別展など)を実施し、成果をわかりやすく伝える
- ・彩湖周辺の自然環境や生き物の魅力を紹介する動画配信の充実を図る
- ・国(荒川上流河川事務所)や民間企業などとの連携による展示、イベントの充実を目指す
- ・市内公共施設などを会場とした写真パネル展示の充実を図る

機能4. 教育普及

生涯学習に資する社会教育施設として、教育普及活動に積極的に取り組んでいきます。

主な取組

- ・博学連携事業として、小3及び小6の博物館授業(来館方式やオンライン方式)、出張授業支援、資料貸出などを一層推進する
- ・博学連携事業として、小3の彩湖自然学習センター授業、彩湖サイエンスサポートプログラムなどを一層推進する
- ・郷土博物館活用検討委員会、彩湖自然学習センター活用検討委員会、博学連携を考える研修会の活動により、博学連携事業の一層の充実を図る
- ・小・中学校教職員の施設体験研修の受入れを行う
- ・子供向け教育普及活動に携わる博物館ボランティアの育成を図る
- ・「体験型学習」の特性を活かした講座の一層の充実を図る
- ・文化財保護事業の一環である文化財講座の一層の充実を図る
- ・大学学芸員課程の博物館実習の受入れを行う

【戸田市郷土博物館ビジョンの位置づけ】

本ビジョンは、博物館法をはじめとする博物館関連法令及び郷土博物館基本構想(昭和58年7月制定)を前提とし、本市上位・関連計画である戸田市第5次総合振興計画、第4次戸田市教育振興計画、第5次戸田市生涯学習推進計画等に基づき、今後郷土博物館が取り組むべき内容について整理し、明示したものです。戸田市立郷土博物館協議会での意見聴取を経て、令和4年2月の戸田市教育委員会定例会で議決され、本ビジョンが策定されました。計画期間は令和4年度から令和8年度までの5年間です。

【進捗管理】

本ビジョンで掲げる「博物館施設」の持つ4つの機能における取組の進捗については、市行政評価におけるPDCAサイクルに基づいて管理していきます。進捗状況は、戸田市立郷土博物館協議会で報告し、同協議会の意見等についてはホームページ等で公開します。



戸田市第5次
総合振興計画
はこちら



第4次戸田市
教育振興計画
はこちら



第5次戸田市
生涯学習推進
計画はこちら



郷土博物館
ホームページ
はこちら



彩湖自然学習
センターホーム
ページ
はこちら

